

物質 調査 番号	調査対象物質	水質(ng/L)		底質(ng/g-dry)		生物(ng/g-wet)		大気(ng/m ³)		食事(ng/g-wet)(ng/L)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[20]	チオリン酸 0,0-ジメチル -0-(3-メチル -4-ニトロフェ ニル)(別名: フェニトロチ オン又は MEP)	nd~4.8 6/6	0.011								
[21]	テトラクロロ イソフタロニ トリル(別名: クロロタロニ ル又はTPN)	nd 0/8	0.5								
[22]	テトラヒドロ フラン							nd~260 3/7	60		
[23]	トリクロロア セトアルデヒ ド	nd 0/7	10								
[24]	トリクロロニ トロメタン(別 名:クロロピク リン)					nd 0/10	0.3				
[25]	ニトロフェン (別名:NIP)							nd 0/6	0.7		
[26]	1,1-ビス(<i>tert</i> - チルジオキシ シ)-3,3,5-トリ メチルシクロ ヘキサン					nd 0/10	0.03				
[27]	ヒドラジン					nd~95 9/10	1.2			食事 nd~0.80 (飲料水 0.77~ 2.7) 146/178	食事 0.0066~ 0.0095 (飲料水 0.68)
[28]	1-ブタノール							nd~1,400 5/7	60		
[29]	フルフラール							nd~85 5/7	40		
[30]	2-(2-ベンゾチ アゾリルオキシ)- <i>N</i> -メチル アセトアニリ ド(別名:メフ エナセット)	nd 0/13	25			nd 0/10	0.3				
[31]	2-(2 <i>H</i> -1,2,3- ベンゾトリアゾ ール-2-イル)- 4,6-ジ- <i>tert</i> -ブチ ルフェノール	nd~0.10 2/6	0.04	0.009~ 5.8 6/6	0.010	0.009~ 3.7 10/10	0.003				
[32]	メタクリル酸 メチル	nd~15 1/7	8								
[33]	2-(1-メチルエ トキシ)エタノ ール							nd~30 3/7	20		

物質 調査 番号	調査対象物質	水質(ng/L)		底質(ng/g-dry)		生物(ng/g-wet)		大気(ng/m ³)		食事(ng/g-wet)(ng/L)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[34]	N-メチルカルバミン酸 2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル(別名:カルボフラン)									食事 nd ~ 0.12 (飲料水 nd) 14/178	食事 0.0048 ~ 0.015 (飲料水 0.12)
[35]	N-メチルカルバミン酸 2-sec-ブチルフェニル(別名:フェノブカルブ又はBPMC)	0.2 ~ 5.1 10/10	0.2								
[36]	α -メチルステレン			nd 0/5	0.7						
[37]	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル(別名:ジクロルボス又はDDVP)	nd ~ 20 6/8	0.3								
[38]	りん酸トリブチル	nd ~ 84 10/19	10								

(注1) 検出頻度は地点ベース(食事は検体ベース)で示した。すなわち、検出地点数/調査地点数(測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。)を示す。1地点につき複数の検体を測定した場合において、1検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

(注2) 範囲は検体ベースで示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd~となることがある。

(注3) □は調査対象外の媒体であることを意味する。

(注4) □は同族体ごとの検出下限値の合計とした。

(注5) 食事の値の単位は、食品については(ng/g-wet)、飲料水については(ng/L)である。